



# かがやき

～一人一人のウェルビーイング～

か が や き  
か が や き  
か が や き

時津町立鳴鼓小学校  
学校だより R6年度第3号

令和6年5月14日  
文責：校長 今井大輔



< 応援団長を中心に応援合戦練習中 >



< 講師を招いてのダンスレッスン >

**運動会に向けてまっしぐら**

ゴールデンウィークが終わってからは、運動会に向けての雰囲気が一気に加速しています。全体練習や各色に分かれての応援合戦の練習は、他の学年の刺激を受けるよい機会となります。休み時間には、応援歌や校歌を歌いながら通り過ぎていく子供がたくさんいます。そこからも子供たちの気持ちの高まりが感じられます。

また、5・6年生は、係打合せや予行練習で、参加するだけでなく、運動会を「自分たちで運営していくのだ。」という自覚とやる気が高まります。行事を通して成長できる素晴らしい瞬間を子供たちと共に教師が感じ取れる瞬間でもあります。今から当日の子供たちの活躍がとて楽しみみです。

今年度の種目の見どころは、各学年や学級の通信でお知らせしているかと思えます。1年生と6年生のペア種目や学級対抗リレー、3年生と5・6年生の表現運動など、ぜひ、お子さんがよく見える位置で観覧していただければと思います。あとは、当日の天候に恵まれることを祈るばかりです。

## 今年も菖蒲をありがとう!

ゴールデンウィーク中の5月1日に子供たちへ菖蒲を持ち帰らせました。今年も、希望制にしましたが、3分の2以上の子が持ち帰ったようです。

昨年度と同じく左底の坂本勝さんから菖蒲をいただきました。職員で泥を流し、袋詰めをして持ち帰りの準備をしました。

ところで、なぜ子供の日に菖蒲なのか…。

菖蒲は古来より、強い香りが邪気を払うと信じられてきました。頭に巻くことで、頭の中に入り込んだ邪気を払い、健全な精神を保つことができると考えられていました。

また、菖蒲は薬草としても知られており、殺菌や防虫効果があるとされています。頭に巻くことで、頭皮の衛生状態を保ち、頭風などの予防にも繋がると考えられていました。

近年では、菖蒲を頭に巻く風習はあまり見られなくなりましたが、代わりに菖蒲の葉を束ねて玄関に飾ったり、菖蒲の香りの入浴剤を使ったりするなどの、様々な形で菖蒲を取り入れる家庭が増えています。

菖蒲を頭に巻くことは、こどもの日ならではの風習ですが、単なる伝統行事ではなく、子供たちの健康を守るための工夫とも言えるでしょう。

持ち帰る子供たちは、みんな笑顔。きっと自宅で頭に巻いたり、お風呂にいれたりしたことでしょう。



## 除草作業!

5月11日(土)にPTA親子除草作業が行われました。天気も良かったので、たくさんの方に参加していただき感謝の言葉しかありません。校庭や運動場だけでなく、鳴鼓坂や看板下斜面もきれいになりました。金曜日には、シニア会の皆様も手伝ってくださいました。本当にありがとうございました!

## つぎやき

今年度の始業式にウェルビーイングの話を子供たちへ行った。本校職員にも事ある毎に話題にしているし、先日の除草作業の際にもあいさつの中に盛り込んだ。今回、このウェルビーイングを学校経営の中に取り入れたのには、次のような思いがある。

- ・子供たちに幸せでいてほしい。
- ・先生方に幸せでいてほしい。
- ・学校が、安心して過ごせて誰もが幸せで笑顔でいれる場所であってほしい。
- ・保護者や地域へもウェルビーイングの考えが知れ渡り、一人でも多くの人が幸せな人生を送ってほしい。

一番に子供たちの幸せをあげたが、まずは、私たち大人が幸せな姿を見ることができなくてはいけないと思っている。私たち大人が、「幸せよね」と思い、口に出さなくては、子供たちは、幸せというものを理解できない。幸せは、決して目に見えるものではないし、人それぞれで価値観も違う。しかし、当たり前のことを当たり前に行っている幸せを実感することで、幸福感は得られると思う。学校でも挑戦していくので、各家庭でも少しずつ「幸せ」を再認識してみてもどうだろうか。

- ・健康に過ごしていること
  - ・好きなことに取り組んでいること
  - ・よい人間関係で過ごしていること
- など、日常の中に幸福感は、溢れている。私たちは、日頃は当たり前だと思っただけのことだが、失った時に、その「幸せ」に気付かされることが多い。少し視点を変えて、見方や考え方ももつだけで幸福感を味わうことができかもしれない。